

前期選抜合格者発表

2020. 3. 16

今日は、3月16日（月）前期選抜合格者発表の日である。先週、3月13日（金）に卒業式を終えたばかりの多くの中学3年生は、緊張しながらそれぞれの高等学校に向かうことであろう。新型コロナウイルス感染症対策が続いている中ではあるが、予定通り合格者発表は行われる。

ただし、各高校では以下のような対応をとるようになる。

- 合格者発表は、従来通り高校の敷地内で掲示とするが、掲示場所を複数にするなどして、生徒が密集しないようにする。
- 合格通知書交付については、従来通り合格者に手渡しするが、交付場所を増やすなどして、生徒が密集しないようにする。
- 簡易開示については、従来通り簡易開示を実施するが、実施場所を複数設置するなどして、生徒が密集しないようにする。

加えて、マスク着用などの咳エチケットの徹底、短時間での対応はもちろんのことである。このようにしてみると、キーポイントは密集を避けることと時間を短くということになる。卒業式と同様に、中学3年生にとっての晴れの日である。制限付きとはいえ、できる限り通常通り行ってあげたい。

さて、梁川高等学校の生徒諸君、その後いかがお過ごしであろうか。臨時休業となり約2週間が経過したが、イメージ通りに生活できているだろうか。皆さんは高校生である。高校生には高校生としての判断力が求められる。このようなときだからこそ、何をすべきか冷静に考え、判断し、行動していくことが必要である。

今は、新型コロナウイルスの感染拡大を防止することが最優先である。人類にとって未知のウイルスである。連日、様々な情報が流れている。何が正しい情報なのかを見極め、何をすべきかを判断しなければならない。このようなことは今後も十分起こり得る。決して今回限りのことではない。我々は“学習”しなければならない。

皆さんの生活は不規則になってはいないだろうか。一日ぐらいいいだろうと乱れた生活をしてしまうと、それが日常化してしまうこともある。生活には一定のリズムが必要である。体は動かしているだろうか。室内でもできる運動はたくさんある。誰かと話をしているだろうか。今までは少なかった家族との会話を増やすチャンスでもある。

想定外の今まで経験したことがないような何もない時間をどのように過ごしているだろうか。急に時間ができると何をしたらいいのかわからなくなる人もいる。今までよりも家庭での手伝いを増やしているだろうか。自分の役割があると、それだけで気持ちがいいものである。

苦手な科目の学習は進んでいるだろうか。時間はある。その気になれば、かなり広い範囲の復習ができる。自分で学び直しができる。ウェブ上には様々な無料の学習コンテンツもある。

学校に行けなくなったからこそ、普段は気づかない、考えもしない自分にとっての「学校」というものがクローズアップされてくる。人は無くなってみて初めてその大切さに気づくものである。皆さんにとって学校は、梁川高校はどのような存在なのだろうか。

今日の合格者発表と後期選抜の結果で、皆さんの後輩となるメンバーが決まる。皆さんは、先輩として新入生を迎え入れる立場である。学校には来なくても、一人一人自覚をもって生活してもらいたい。3月19日（木）の3学期終業式はなくなってしまったが、皆さんの自宅には通知票などの書類は届く。それを見ながら1年間の高校生活を振り返り、新年度へ向けて新たな思いを抱いてほしい。そして、その思いを4月を迎えるまでに決意や目標、あるいは夢や志として結実させてほしい。4月8日（水）に、それぞれの思いを抱いた皆さんに会えることを楽しみにしている。